

令和7年度 事業報告について

事業概要

令和7年度は、賃上げ率が33年ぶりの高さとなった前年度を更に上回る堅調な結果となり、最低賃金の上げ幅も更に過去最大で、近年にはない明るい動きが続いたものの、それ以上に食料品などの身近な品目の物価上昇が大きく、非常に厳しい状況でした。

また、事業運営では、フリーランス法の施行に伴う新たな包括的契約が初年度としてトラブルがなく締結できたほか、経過措置による80%控除されたものの、初めて1年分のインボイスによる消費税を負担した年となりました。

加えて、第四次中期(5か年)計画の最終年度であり、目標数値の到達を目指し役職員、会員が丸となって努力しましたが、契約金額及びシルバー業務委託料は達成できたものの、特に**会員数と就業率については未達成**で残念な結果となりました。

しかしながら、急速に進む少子高齢化の中、高齢者の多様な社会参加の受け皿として、シルバー事業の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものとなっているため、新たな取り組みも始めました。

まず、**組織活動の充実**では、地域班会議において今後の組織運営に参考となるアンケート調査を実施したほか、退会抑制のための準会員制度の創設に向けて調査研究を行いました。次に、**就業開拓の推進**では、ミシンを使用し古着布で手芸品を製作して販売まで試みたグループが結成されたほか、介護予防・日常生活支援総合事業の一部業務の受託に向け準備を進めました。更に、**財政基盤の強化等**では、今後の新たな事業の方向性や方策を示した令和8年度からの第五次中期計画を策定しました。

最重要課題であります**会員の拡大**では、ハローワーク出張相談会への参加者数が増え定着してきたほか、女性限定入会説明会の試行、高齢者活躍人材確保育成事業を活用してのケーブルテレビCMや剪定入門基礎講習などに取り組みました。併せて、従来からの会報「シルバー須高」発行やホームページによる情報発信、入会説明会手続き有効期限制度の継続、入会の迅速な承認、「会員ひとり1会員拡大」活動などによりまして、**会員数**は619人となり前年度対比11人の増と僅かながらも減から増に転じました。

事業面では、請負・委任事業は、受注件数で前年度対比57件の減、就業延人員数も2,486人の減でしたが、受注価格見積基準単価の引上げにより、事業収入は322,062千円で、前年度対比4,021千円の増となりました。就業率は85.3%でありました。

派遣事業では、受注件数は28件、前年度対比2件の増、契約額は40,064千円となり、前年度対比12.7%の増となりました。

この結果、請負・委任及び派遣事業の収入等の合計は362,127千円で、前年度対比8,549千円2.4%の増となりました。

安全就業では、全シ協定時総会にて栄えある安全就業優秀賞を受賞しましたが、事故件数は傷害・賠償等合わせ9件、前年度対比で僅か3件の減であります。

安全ニュースの発行や安全パトロールの実施に加え、除草会員を対象に絞っての危険予知訓練の実施など安全就業の推進に鋭意取り組んできました。

以下、主な事業等について報告いたします。